

教科等横断的な視点を取り入れた授業実践

社 会 科

第 4 学 年

《教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成》

○ 学習の基盤となる資質・能力の育成について

- ・情報活用能力の育成

児童一人一人が表や写真など資料から読み取った情報を根拠に自分の考えをもち、その考えを発信していくことをめざして授業を進めていく。本実践の目的を達成するために、ICTを用いて具体的な事象を捉えやすくしたり、ワークシートを工夫して自分の考えを書くことへの抵抗感をなくしていったりすることで、児童一人一人が自分の考えを表現できるように学習を進めていく。

- ・情報活用能力の育成

社会科における千葉県の農業に関する学習と、総合的な学習の時間における地域の農業に関する学習の中で、それぞれの農業の類似点と相違点を関連付けて指導計画を作成する。その学習を通して、千葉県と地域の農業の特徴やよさに対する理解を深めていく。

1 単元名「千葉県の農業」

2 単元の目標

- 香取市の米づくりについて、グラフなどの統計資料や調査活動を通して、土地や気候の特色を生かして米づくりが行われていることを理解する。 〈知識及び技能〉
- 香取市で米づくりが盛んになった理由について、地理的条件や人々の努力や工夫を結び付けて考え、考えたことを表現する。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- 香取市の米づくりについて、地理的条件や人々の工夫や努力について自分なりの課題をもち、主体的に調べようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

3 教科等横断的な視点を取り入れた授業実践について

(1) 単元で育てたい力

- 身近な地域の農業と香取市の米づくりを比較しながら学習していくことで、千葉県を代表する地域の米づくりで行っている工夫や努力を導き出すことができる。

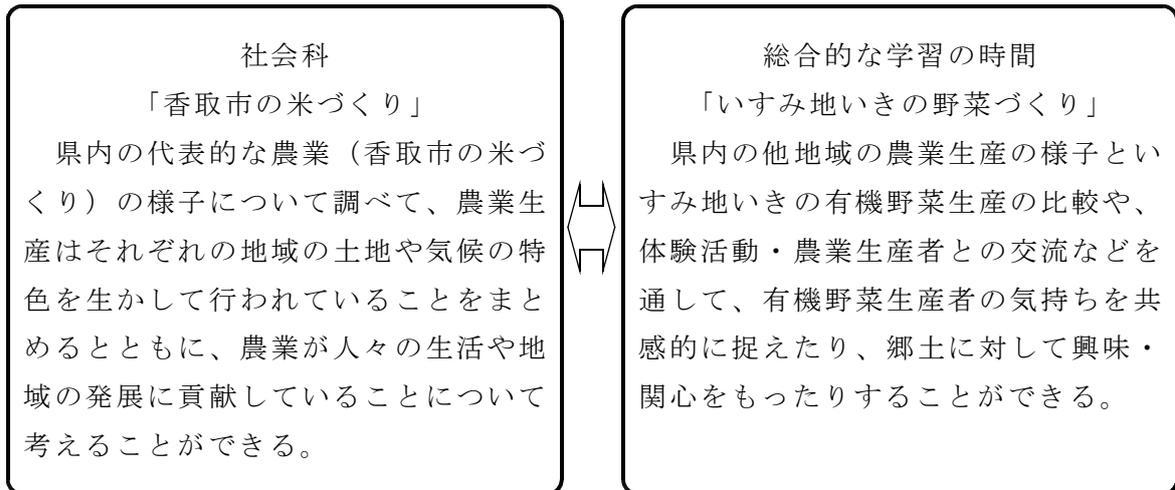
【社会：情報活用能力】

(2) 教科等横断的な視点に立った育てたい力

○身近な地域の農業と千葉県を代表する地域の米づくりについて比較しながら学習を進めることで、地域の米づくりのよさや課題について考え、自分の言葉でまとめ、それを発信することができる。 **【総合的な学習の時間：言語能力】**

(3) 共通の育てたい力

○二つの地域の農業の相違点や共通点を見つける学習を通して、情報を整理したり情報をもとに想像したりする資質・能力を身に付ける。 **【共通：情報活用能力】**



(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①資料の読み取りや体験活動などを通して、身近な地域の農業と香取市の米づくりの特徴を掴み、それぞれの地域の地理的条件と関連付けながら農業に取り組んでいることを理解している。</p>	<p>①身近な地域の農業と香取市の米づくりとの相違点や類似点をそれぞれの地域の地理的特徴と関連付けながら考え整理している。</p>	<p>①香取市の米づくりについて、地理的条件と人々の工夫や努力とを関連付けながら主体的に調べようとしている。</p> <p>②香取市の米づくりと比較しながら、身近な地域の農業のPRの仕方を主体的に考えようとしている。</p>

4 指導計画

時	学 習 活 動 ★教科等横断的な学習活動	備考 ★教科等横断的な学習 ◎記録に残す評価
---	--------------------------------	-------------------------------------

		□学習状況の確認
	<p>いすみ地いきの農業にはどんなとくしょくがあるのだろうか。</p> <p>自分たちが住んでいる周辺の農業の様子を調べ、有機農業と身近な地域の農業に興味をもつ。 【見いだす】 【総合的な学習の時間】</p>	<p>□知識・技能 資料をもとに、身近な地域の農業の様子を理解することができる。 ①【記述分析】</p>
	<p>いすみ地いきで農業をしている人は、どんな工夫をしていて、どんな苦労があるのだろうか。</p> <p>地域の有機農業に関わる人の話を聞き、身近な地域の農業の特色やそれに携わっている人々の工夫や過疎を含めた苦労について話し合う。 【自分で取り組む】 【広げ深める】 【総合的な学習の時間】</p>	<p>□知識・技能 身近な地域の農業の特色や工夫、苦労について理解することができる。 ①【記述・発言分析】</p>
	<p>いすみ地いきの農業についてわかったことや気づいたことをまとめよう。</p> <p>身近な地域の農業の特色や携わっている人々の工夫や苦労についてワークシートにまとめる。 【まとめあげる】 【総合的な学習の時間】</p>	<p>◎思考・判断・表現 農家の方の話や調べたこと、話し合ったことをもとに、身近な地域の農業の特色や工夫、苦労について具体的な言葉を用いて整理することができる。 ①【記述分析】</p>
1	<p>なぜ、香取市は米づくりがさかんなのだろうか。</p> <p>香取市が米づくりがさかんであることを知り、盛んになった理由を地理的特徴から導き出す。 【見いだす】</p>	<p>□知識・技能 香取市が米づくりがさかんな理由を、地図などの資料から読み取ることができる。 ①【発言・記述分析】</p>
2	<p>香取市の米づくりをしている人は、どんな工夫をしてどんな苦労をしてきたのだろうか。</p>	<p>◎知識・技能 ★香取市の米づくりの様子や工夫、苦労してきたことなど理解することができる。【情報活用能力】 ①【記述分析】</p>

3	<p>★身近な地域の学習した視点を生かして、香取市の米づくりの土地の利用の仕方の工夫や稲の育て方を調べ、調べたことをもとに話し合う。【総合的な学習の時間】</p> <p style="text-align: center;">【自分で取り組む】 【広げ深める】</p>	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>香取市の米づくりについてわかったことや気づいたことをまとめよう。</p> </div> <p>香取市の米づくりの特徴を整理し、そのよさが伝わるようなワークシートにまとめる。</p> <p style="text-align: right;">【まとめあげる】</p>	<p>□思考・判断・表現</p> <p>調べたこと、話し合ったことをもとに、身近な地域の農業の特色や工夫、苦勞について具体的な言葉を用いて整理することができる。</p> <p>①【記述分析】</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>いすみ地いきの農業と香取市の米づくりではどんなことがにっていて、どんなちがいがあのだろうか。</p> </div> <p>★香取市の地理的特徴を生かした米づくりや生産性向上のための取組と、身近な地域の農業との類似点や相違点を話し合い、まとめる。【総合的な学習の時間】</p> <p style="text-align: right;">【広げ深める】</p>	<p>◎思考・判断・表現</p> <p>★これまでの学習をもとに、身近な地域の農業と香取市の米づくりの類似点や相違点を話し合い、自分の言葉でまとめることができる。【情報活用能力】</p> <p>①【記述分析】</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>いすみ地いきの農業をPRするにはどうしたらよいだらうか。</p> </div> <p>★香取市の学習をもとに、地域性を生かした身近な地域の農業のよさを話し合い、身近な地域の農業をPRするポスターを作成する。【社会】</p> <p style="text-align: right;">【まとめあげる】 【総合的な学習の時間】</p>	<p>◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>★いすみ地いきの農業について、そのよさを考えながらPRすることを意識してポスターづくりに取り組んでいる。【情報活用能力】</p> <p>①②【記述分析】</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>いすみ地いきの農業を3年生にわかりやすくせつ明しよう。</p> </div> <p>作成したポスターを使って、3年生に身近な地域の農業について説明をする。</p> <p style="text-align: right;">【まとめあげる】 【総合的な学習の時間】</p>	<p>□思考・判断・表現</p> <p>相手を意識したわかりやすい表現で、身近な地域の農業について説明することができる。</p> <p>①【発言分析】</p>

5 実践

(1) 目指す児童の姿

- ・学習の基盤となる資質・能力について

ア 情報活用能力の育成①（第2・3時）

(ア) 児童を見取る際の主なポイント

- 資料から適切な情報を読み取ることができているか。（知識・技能）
- 資料から読み取ったことをもとに、米づくりがさかんな香取市ではどんな工夫をしているのかを考えることができているか。（思考・判断・表現）

(イ) 指導と評価の実際

①第2・3時の授業の概要

地図や写真などの資料をもとに作業や土地の利用などの特徴を読み取った。その読み取りをもとに、香取市で行っている米づくりの工夫を個々に考えた。グループでその考えを共有したり新たな考えを導き出したりする活動を通して、児童が個々に米づくりが盛んな理由を自分の言葉でまとめた。

②実際の児童の姿

- 「おおむね満足できる」状況と評価した例
機械を使うことによる効率化について言及しているので、B評価とした。



なぜ、(機械)を使うようになったのか。機械を使うと、どんな良いことがあるか考えて書こう！
機械を使うと手さきより、こりりがよく時間があまりかからないから。

- 「十分満足できる」状況と評価した例
機械を使うことによる効率化とそれに伴う生産性の向上にまで言及できているので、A評価とした。



なぜ、(機械)を使うようになったのか。機械を使うと、どんな良いことがあるか考えて書こう！
機械を使うと、手作業よりはやくできるから、お米の取れる量も、ふえるし、田んぼは広いから、機械が多く使われると思いました。

- 「努力を要する」状況と評価した例
機械を使うことによる作業の効率化に気付くことができていないので、C評価とした。



なぜ、(機械)を使うようになったのか。機械を使うと、どんな良いことがあるか考えて書こう！
便利に使える。
田がきれいになる。

イ 情報活用能力の育成②（第5時）

(ア) 児童を見取る際の主なポイント

- 資料から適切な情報を読み取ることができているか。（知識・技能）
- 資料から読み取ったことをもとに、いすみ地区の農業との比較をもとに香取市の米づくりがさかんな理由を考えることができているか。（思考・判断・表現）

(イ) 指導と評価の実際

①第5時の授業の概要

いすみ市の有機野菜づくりと香取市の米づくりの特徴を「工夫点」「地域との関わり」の視点で、最初に個人で既習事項を振り返り、それぞれの地域の特徴をワークシートに書き込んだ。その後、個々の考えを付箋に書き、模造紙に貼ることで、意見の共有化を図り、友達の見解を参考にしながら自分の考えとしてまとめた。

②実際の児童の姿

○ 「おおむね満足できる」状況と評価した例

	いすみ市の有機野菜づくり	香取市の米づくり
い 工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をいらいなり ・かい虫くじしをして ・温かい気温を生かして ・旬のしみに作って旬のしみに食べている ・競争菜づくりの石けん ・たいていフタを 	<ul style="list-style-type: none"> ・米利根川の水を引いて来て、田んぼに引 ・扇持木を築き場 ・米利根川の水を引 ・田んぼに、流している ・いすみ市の有機野菜 ・を作るときは使わな ・いすみ市はつ ・機を使って、早く

それぞれの地域での工夫や気候条件について記載されているので、B評価とした。

○ 「十分満足できる」状況と評価した例

	いすみ市の有機野菜づくり	香取市の米づくり
い 工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・作業で害虫除している ・季節に合わせて野菜を作 ・農業や化学肥料を使わ ・いすみ市の気候をよ ・おいしく野菜を食べて ・たいてい作りは、自然 	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼに道路を ・温かい気温をい ・利根川の水を調節 ・トラクターなどを使

それぞれの地域での工夫や気候条件、更に土地の特徴を利用している点にまで触れることができているので、A評価とした。

○ 「努力を要する」状況と評価した例

	いすみ市の有機野菜づくり	香取市の米づくり
い 工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を使っている ・雨の時期に ・地を消している 	<ul style="list-style-type: none"> ・利根川の高さが ・水田に道各が ・台風に合わせて

それぞれの地域での工夫には触れているが、気候条件や土地の特徴に関連した工夫について書くことができていないので、C評価とした。

(2) 実践を終えて

1 学習の基盤となる資質・能力の育成について

児童にとって資料を読み取ったり考察したりしやすいワークシートを作成することで、自分の考えを表現することを苦手としている児童を含め、全ての児童が写真からわかることを読み取り、ワークシートに書き込むことができた。また、写真に載っている事実から生産性の向上にまで目を向けられる児童も出てきたことは、資料を精選したことや表記方法を工夫したことの大きな成果だったと思われる。

同様に、ICTを活用して読み取ったこと、考えたことを書かせる活動の際、新型コロナウイルス感染症予防の影響で対面での話合いができない中、お互いの意見を視覚的に確認することができた。また、発言することに抵抗がある児童も、書き込むことで安心して自分の考えを表現することができ、互いの考えを深める点でも効果的であった。

2 教科等横断的な視点に立った評価について

夷隅地区の農業と香取市の米づくりを並行して扱うことで、それぞれの地域の気候や土地の特徴を生かした取組について、より深く理解することができた。

例えば、身近な夷隅地区の有機農業の素晴らしさや工夫・努力について、他地域との比較をもとに感じることは、地元への愛を深めることにつながった。それによって、農村地区の過疎化という問題の解決にもつながっていくことを期待したい。

また、社会科の学習の目標である「香取市の土地や気候の特色を生かした米づくり」について、単に「大きな川」「広い平野」などだけでなく、夷隅地区との原風景の違いなどにも着目させながら、どれだけ広い平野が広がっているのか、川沿いの地域ならではの工夫や苦労があることなど、より深く学ぶことにつながった。